

AIとの会話やライフログ（※）のセンシングで、家庭・地域の状況(幸福度・トラブル)がわかり、迅速な共有や対応が行われるようになる

概要

日常会話や行動など生活上のあらゆるライフログを収集する（＝センシング）デバイスが開発され、各家庭で収集した情報を基に必要な情報を整理して提供してくれる。また、日常生活において支援が必要であると思しき問題（ストックがあるのに同じものを繰り返し購入する、同じ内容の話を繰り返すなど）を検知すると、行政機関や医療機関等に情報が自動的に発信され、事態が深刻化する前に支援の手が入る。さらに、普段から住民の気軽な会話相手になり、近所の人には相談しにくい困ったことが起きた場合も、デバイスを通じて適切な機関からの回答を得ることができる。

※人間の生活・行い・体験を、映像・音声・位置情報などのデジタルデータとして記録すること

変化のポイント(商品・サービス/価値観・行動/業界/などの変化)

いままでは

助けを自ら求めないと支援を受けることが難しい



これからは

細やかに支援の手が自然と入るようになり、安心が広がる